

## 2008年11月2日主日礼拝

司 会	①石塚兄	②藤樫兄	③滝山兄
奏 楽			
祈 禱	①三畑兄	②川村師	
賛 美	聖歌520番 (主イエスをほめよ)		
十 戒	(出エジプト記20章1～17節)		
聖 書	マタイによる福音書5章1～12節		
音 楽	Cloud By Day		
メッセージ	「八つの祝福」 大川従道牧師 (41歳の大川師(V)1983年2月20日分)		
賛 美	「明日はどんな日か」(献金)		
主の祈り			
祝 禱			

「ユリウの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。」(マタイ五の三)

### 【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとございます。富田ユキエ姉(ナオミ会)(10月26日)
- ・ 本日より3回シリーズで入門講座が始まります。朝9時。2階、Rルームにて。
- ・ 本日、ヨシュア会、囲碁、Gマジック、ICA禱援会あり。
- ・ 午後、J. PLUSは各信徒会での活動です。
- \* 大川師は本日ポートランドです。7日帰国予定。
  
- ・ 今週も祈禱会を大切に！説教は坪井先生。水曜夜7時半と木曜朝10時半。
- ・ 福音礼拝は火曜昼2時～3時。説教は小崎先生。「楽しく楽になる人生」シリーズ。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は佐々木神学生。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜6時50分。説教は、W. Cordeiro師(V:字幕あり)。
- ・ 週報ボックスの位置が一部変更になりました。ご確認をよろしく願います。

## 石の枕

大川牧師31歳のとき

北森先生の文章に「教会の交わり」の意味について考えさせられるものがあるが、私なりにこの場をかりて書いてみることにする。

人生と教会との関係を土地と水との関係にたとえてみるができる。第一「砂漠タイプ」——教会生活をしていても、そこから人生という土をうるおしてくれる水に当るような真実の交わりが与えられない場合、それは掘っても掘っても水が出てこない砂漠のようなものである。そこで使われる「兄弟姉妹」なる言葉は、偽善的臭いがし、まさに「見かけ倒し」である。

第二「湿地帯タイプ」——これは前のタイプと正反対で水が過剰となった場合、兄弟姉妹的な交わりが行きすぎ、かえって教会が不健全になったりする。極端な場合には、兄弟姉妹だからというので、始終ベタベタくっついていなければならないように考えたりして、丁度湿気の多い梅雨時に食物が腐るように、妙な臭いがしてくる。牧師と信徒の関係も、家族的親しさだけで評価されるのでは、聖書的ではないし、内容の充実した教会には成長しないであろう。

第三「地下水タイプ」——地下水の場合には、水は地底のあらゆる部分に張り渡されているが、湿地帯の場合のように、のべつ幕なしに過剰に噴出するのではなく、必要な時に掘れば必ず出てきてくれるのである。砂漠の場合のように、掘っても反応がないのではなく、掘れば必ず出てくるのである。(ヨハネ4の14)

いったい兄弟姉妹的な交わりは年がら年中噴出している水のようなものであり得るはずはない。そういうものはかえってアブノーマルである。「君子の交わりは淡きこと水のごとし」という言葉があるが、教会員同志の交わりにも平素は淡々としたものがあっていい。それをもって「冷たい」などと早急に言うべきではない。「淡い」ことと「冷たい」こととは区別しなければならない。「いざ」という時には、サラサラの淡さがパツと切り替えられねばならないのである。そして、「親兄弟も及ばない」ほどの真実の交わりが、地下水のように噴出してこなければならぬのである。——続きは来週、お楽しみに。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:テトス3章～ヘブル5章 Bコース:エレミヤ書33章～50章